



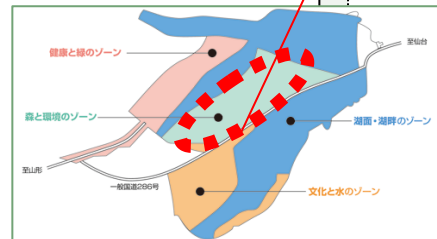
みちのく森の楽校だより 夏休みイベント

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

里山地区



8月2日(土) 晴れ 夏休み里山はじめて体験！

開園して初めての夏休み。会員だけでなく、一般のお客さまも参加できる体験イベントを行いました。名付けて「夏休み里山はじめて体験」！ 3つのプログラムを用意しました。

暑い暑い真夏の日、里山の魅力を満喫していただきました。

親子木工教室

里山地区の木工教室は、材料となる木材を、里山の木を伐倒して作ったもの。他の地区の木工体験とは少～し違います。

切ったすぎの丸太をチェーンソーで2cmの厚さに板挽きして、長さは1mに切りました。端を切りそろえていないので、木の節や皮も残った、野趣あふれる木材です。



今日は、これを使って、工夫していろいろなものを作りました。見本としてボランティアが作っておいたのは、ブックエンド型本箱。これに限らず、親子が工夫して作ったそれぞれの作品を見てください。世界にひとつの作品です。



笹巻きづくり

「笹巻き」とは、東北地方の各地でつくられる伝統食で、かつては端午の節句や田植え後のさなぶりで作られる行事食でした。

古くから昔の里人たちは笹の殺菌効果を知り、長持ちする笹巻きや笹もちを作って利用してきました。農家の女性たちが、家ごとにつくり受け継いできたものです。

【前日準備】

- ・ 笹の葉は前の日に、里山で採ってきて洗っておきます。
- ・ もち米は一晩、水につけておきます。

【当日準備】

- ・ もち米は、ざるで水気を切ります。
- ・ 笹巻きを縛る「イ草」は、ゴザをほぐして、1時間ほど水につけておきます。

【作り方】

- ・ 笹の葉は2枚ひと組にして、形を作ります。
- ・ 餅米を詰め、包みこんでイ草で結びます。
- ・ 5個にまとめて束ねます。
- ・ たっぷりの熱湯に塩少々を入れて、沸騰した中に笹巻きを入れて、45分間位煮ます。
- ・ 大豆をカラリと炒ります。
- ・ 石臼に炒った大豆を少しずつ入れて、挽きます。
- ・ 同量の大豆の粉と砂糖を混ぜると、黄粉の出来上がり。
- ・ 出来上がった笹巻きを、黄粉につけて食べました。



里山冒険遊び



木漏れ日のさわやかな里山で、ツリーハウスに登ったり、いろいろなアスレチックで遊んだり。

はじめて里山に来た子供には、新鮮だったようです。